

事業番号	04 07 01	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野県長寿社会開発センター運営事業補助金				担当課	部局	健康福祉部
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	健康増進課	
	施策の総合的展開	6-1	健康で長生きできる地域づくり		E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp	
		2	高齢者の活躍の促進		実施期間	H元 ~	

1 事業の概要

目指す姿	高齢者の生きがいづくり、健康づくりへの支援及び高齢者の社会参加活動の推進を図り、豊かで活力のある長寿社会の実現を目指す。					
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 急速な高齢化社会の進行、人口減少化の中で、高齢者の取り巻く環境や社会的ニーズが大きく変わってきていることから、「人生90年時代」を前提とした目指すべき高齢化社会の姿の実現に向けて、平成25年度にセンターの担う役割などについての検討を行い、高齢者を必要とする活動と人材をコーディネートする仕組みづくりなどの事業への反映に取り組むこととしている。 信州ねんりんピックの開催や全国健康福祉祭への参加、シニア大学の運営を通じ、シニア層の多様な形での社会参加の活動を支援している。 					
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】				
	県民との協働による実施: 実施中	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人長野県長寿社会開発センター運営事業補助金交付要綱 県下10広域に支部を構築し、全県的に事業を実施していくためには、県の関与が必要である。 				
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> シニア大学入学者数:1,100人 信州ねんりんピック参加者数:2,700人 シニア大学生アンケートにおける満足度:80% 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)
	長野県長寿社会開発センター運営事業補助金	補助金	<ul style="list-style-type: none"> シニア大学の企画、運営 信州ねんりんピック(式典、スポーツ交流大会、高齢者作品展等)の開催 全国健康福祉祭(スポーツ交流大会、文化交流大会等)への参加 等 [県長寿社会開発センターへの補助] 	66,601	66,601	67,903
			合計	66,601	66,601	67,903

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	72,348	68,082	66,601	67,903
	補正予算		-1,279		
	合計(A)	72,348	66,803	66,601	67,903
	一般財源	72,348	66,803	66,591	67,903
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	10	0
	決算額(B)	72,348	66,803	66,601	
概算職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	
概算人件費	1,652	1,652	1,652	1,652	
概算事業費(B(A)+C)	74,000	68,455	68,253	69,555	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
シニア大学入学者数	1,111人	1,100人	1,203人	達成	1,200人
信州ねんりんピック参加者数	3,960人	2,700人	3,310人	達成	3,300人
シニア大学生アンケートにおける満足度	80%	80%	76%	未達成	80%

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度に行ったカリキュラム見直しが浸透したことなどにより、平成26年度の入学者数は1,203人となり、目標を達成できた。 信州ねんりんピックについては、ステージ発表における世代間交流やシニアの活動を発表するパネル展などシニア層の参加促進につながる新たな取組を行い、目標を達成できた。 シニア大学生のカリキュラムに対するニーズが多様化していることなどから、アンケートにおける満足度は76%になった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	社会的ニーズも踏まえたカリキュラム検討を含めたシニア大学の実施、信州ねんりんピックの開催などを通じ、高齢者の活躍の場を広げ、社会参加の促進を図る。